

< CRT 栃木放送「開倫塾の時間」2020年4月11日放送内容速記録 >

今年1年は「家庭学習」と開倫塾での「自学自習」に全力を傾けよう

開倫塾

塾長 林明夫

Q1：学校休校や学校早帰りで、家庭で過ごす時間が増えています。どのように過ごしたらよいのでしょうか。

- A：(1)新型コロナウイルス感染拡大にともなう、学校休校や学校早帰りは、おそらく、これから1年間ぐらいは続くと思われます。
- (2)そうであるならば、これからの1年間は、家庭で過ごす時間が、平年に比べて長くなります。そこで、家庭での過ごし方をよく考えて、充実したものにすることを提案します。
- (3)おすすめしたいのは、「家庭学習」と開倫塾での「自学自習」に、真正面から取り組むことです。

Q2：では、どのように「家庭学習」を進めたらよいのですか。

- A：(1)緊急事態宣言が発令されるなどして、学校休校中の場合は1日の大半の時間を家庭で過ごすことになると思われますので、「規則正しい生活」を心掛けてくださいね。
- (2)まず第一に、朝起きる時間、夜寝る時間は、学校に通学しているときと同じにすることを、おすすめします。
- (3)次に、学校の授業が始まる時間には、机に向かう。学校の「時間割通り」に各教科の勉強をすることをおすすめします。
- (4)休み時間や昼休みなども、時間通りにきちんと取ることが、おすすめです。

Q3：エー、そんなことはできそうもありません。

- A：(1)そのような場合は、次のようになさったらどうでしょうか。
- ①朝起きたら、新聞を、1面からなめるように、30分～1時間かけて毎日読む。
  - ②新聞を読み終えたら、自分の好きな本を、1～2時間読む。午前中かけて読書をする。一度読み始めた本は、最後のページまで読み切る。
  - ③午後は、学校や開倫塾の教科書を、好きなだけ勉強する。
  - ④夜は、読書や勉強に励む。
- これならできそうでしょう。
- (2)学校が再開されても、早帰りや土日休みの学校が多いと思われます。新聞を毎日30分以上、好きな本を1時間以上読んでから、各教科の勉強をスタートしてください。
- (3)土曜や日曜も好きな本を半日読んだら、あとの半日は1～2教科に絞って集中的

に勉強してください。

**Q 4：受験生はどうしたらよいのですか。**

- A：(1)「自分は、来年の1月～3月に入学試験を受験する受験生である」という「自覚」をもつ。つまり、「受験生としての自覚」をもって、1日も早く「受験勉強」をスタートすることです。
- (2)学校休校の場合は、「1日中受験勉強できる今は、絶好の機会だ」と考えてください。学校早帰りや土日完全休みの場合も、同じように考えれば、今年は、平年と比べ、受験生は何時間でも、好きなだけ「受験勉強」ができます。
- (3)開倫塾には、様々な「自学自習」用の教材が用意されています。また、映像授業もたくさんあります。校長先生とよく相談して、自分に一番合った教材や映像授業を利用してくださいね。開倫塾での「自学自習」にもお励みください。

**Q 5：来年の入試が心配です。どのようなことを行えばよいですか。**

- A：(1)受験学年が始まる4月から、新聞を毎日30分以上読み、また、自分の好きな本を1時間以上読み、「読解力」を身に着けた上で、家庭で過ごす時間の大半を机に向かい、「受験勉強」に励めば、どのように難しい入学試験にも、必ず合格します。
- (2)「私立中学校入試」「公立中高一貫校入試」「難関私立高校入試」「難関都立高校・県立高校入試」「大学共通テスト」などに備え、4月から「受験生としての自覚」をもって「家庭学習」と開倫塾での「自学自習」に励んでくださいね。
- (3)どのように受験勉強をしたらよいかは、「塾生ハンドブック 2020」にすべて書いてあります。「塾生ハンドブック 2020」を、毎日、勉強を始める前と終える前の10分間読み、スミからスミまで「完全理解」。1つでもよいからチャレンジする。そして、自分のものとして「定着」させてください。夢は必ずかないます。

**Q 6：最後に一言どうぞ。**

- A：(1)「ピンチをチャンスに」という考えもあります。1日中、机に向うことのできるこれからの1年間を、「家庭学習」と開倫塾での「自学自習」のための「絶好の期間」と考え、最大活用してください。
- (2)「学ぶ」とは、人生を何回も生きるために、学び続けることです。
- (3)「一生勉強、一生青春」です。誰に遠慮することなく、これからの1年間、自由に、好きなだけ勉学にお励みください。

2020年4月10日(金)